

『ベンチャー企業の株式上場とナスダック株式市場』  
— 沖縄企業・株式公開の勧め —

講師 藤野三紀雄 氏 ナスダック東アジア主席代表

◆直接会場にご来場ください、無料です。

日時 2005年8月5日(金) 19:00-20:30

(仕事が終わってからでも参加可能なよう、遅い時間を設定しました。)

場所 沖縄大学1号館601教室

※ 講演会終了後、講師を囲んでパーティー(無料、ノンアルコールビール)を  
します。これにもご参加ください

<講演内容>

1. ナスダック株式市場 The NASDAQ Stock Market とは
2. 株式上場とは
3. ベンチャー企業の株式上場

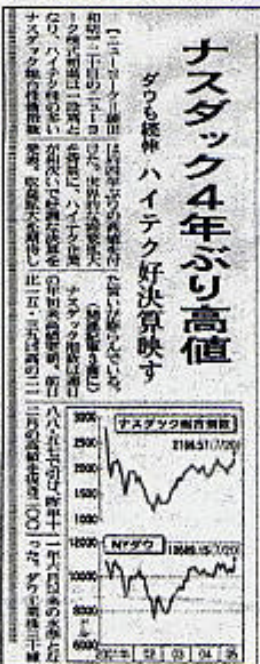
わが社が公開なんてまだまだ、というのが沖縄の経営者が大半ですが、関係ないと言わないで、公開するにはどのような問題を克服すればよいのか、一度専門家のアドバイスを受けてみたらどうだろうか。

資本の蓄積、充実が企業経営(者)として大きなメリットがあり、また義務でもある。しかし経営利益の積上げだけでは容易なことではない、確実に資本を増強できるのが、この株式の公開です。

また投資家の皆さんから見ても、最近のナスダック指数はハイテク企業の相次ぐ好調な決算を背景に連日の高値更新をし魅力的です。投資の視点からも、今後の動向を東アジア主席代表から直接、お聞きできます。

講師: 藤野三紀雄 (USJの みきお)

東京銀行(本店、ロンドン支店、パリ支店)および日興証券(本店、シンガポール現世法人)にて一貫して証券業務を歩み、外国為替、貿易金融、投資銀行、国際金融、投資助言、投資顧問、外債株式、信託、M&A、ベンチャーキャピタルなど広範な分野に精通する。1998年に独立し藤野コンサルティング事務所を開設。現在、ナスダック東アジア主席代表を兼務。東京大学法学部卒。



1. ナスダック株式市場 The NASDAQ Stock Market とは

ニューヨーク証券取引所と双璧を成す米国の巨大株式市場。1971年に全米証券業者協会 National Association of Securities Dealers (NASD) の電子取引システムとして発足したが、マイクロソフト、インテルなどの上場企業とともに成長し、ナスダック株式市場となった。ハイテク、IT、バイオなどの成長企業が数多く上場することで有名。現在、約3200社が上場、うち約1割が外国企業。昨年は中国企業10社がナスダックに上場し話題となった。今年に入ってから中国企業に加え、韓国、台湾などのアジア企業が相次いで上場を果たしている。

2. 株式上場とは

- ・株式上場はゴールではない。あくまで企業成長のための通過点にすぎない。
- ・コーポレート・ガバナンス Corporate Governance 何のためにあるか。
- ・生存競争に打ち勝つには?

3. ベンチャー企業の株式上場の意義

- ・ナスダック上場は難しいか。
- ・どの段階で上場するか。
- ・ナスダックこそベンチャー企業にふさわしい株式市場一大志を抱いてチャレンジしよう!

<個別相談も可能です>

講師・藤野氏には講演会前日より沖縄入りしていただき、個別相談にも対応できるようお願いをしております。事前に申し出があれば、吉川研究室で場所・時間等の調整をさせていただきます。お気軽にお申し出下さい。

ご参照ください。  
[www.h-yosikawa.com](http://www.h-yosikawa.com)

↓  
授業用ダウンロード  
・IPO 株式公開入門  
「株式公開とは」  
「プレゼンテーション」

主催 沖縄大学吉川研究室、日本ベンチャー学会沖縄研究部会

問い合わせ 沖縄大学吉川研究室 TEL&FAX: (098) 832-2958

E-mail: [yosikawa@okinawa-u.ac.jp](mailto:yosikawa@okinawa-u.ac.jp) , ホームページ: <http://www.h-yosikawa.com>